

戸先錠ケース・把手

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方、およびお施主様にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●把手は正しく取付けてください。取付ける方向を間違えると手を挟むおそれがあります。

■取付け順序

1 戸先錠ケースの取付け

※セット内に戸先錠ケースが付属しない場合は**1**の作業はありません。

2把手の取付けに進んでください。

※戸先錠、把手を取付ける前に戸先錠ケースを取付けてください。

※ラッチ付ケースは、必ず上部の切欠き穴に取付けてください。

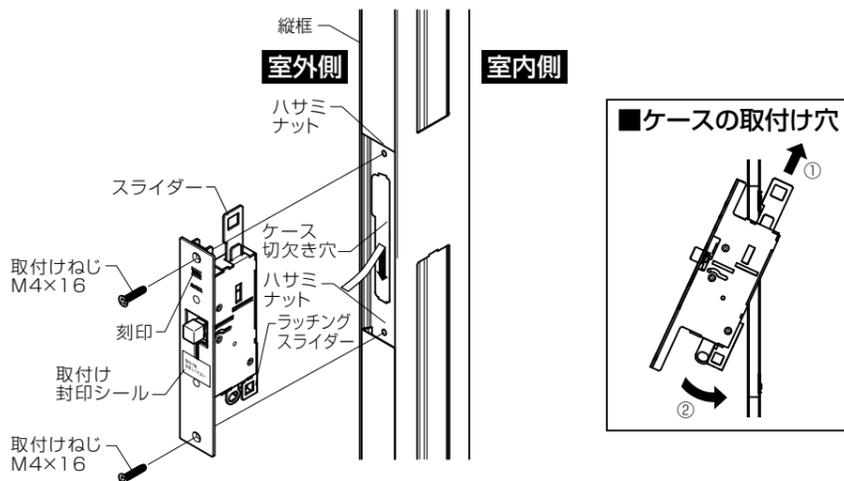
①戸先錠ケースの刻印の向きからケースの上下を確認し、上部スライダー側を先に切欠き穴に差込みます。

②下側を切欠きに差込みます。

③取付けねじ(M4×16)で固定します。

※取付け封印シールは、戸先錠、把手を取付け後におはがしください。

※戸先錠ケース取付け後に、戸先側を下にして本体を立てないでください。戸先錠ケースが破損するおそれがあります。

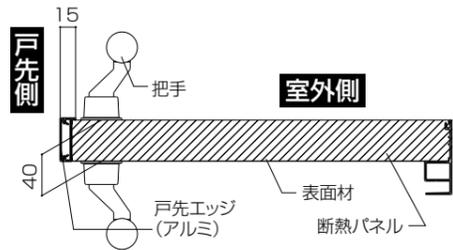


2 把手の取付け

※本体デザインが断熱フラッシュタイプかアルミPGタイプかを確認してください。

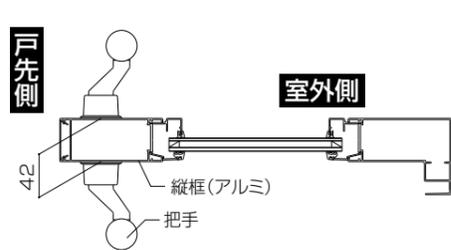
■断熱フラッシュタイプ

●ワッシャを外してください。



■アルミPGタイプ

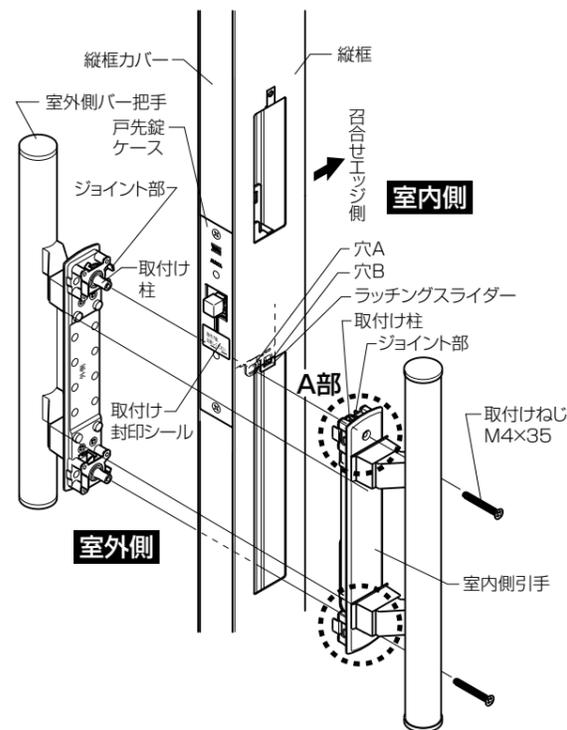
●ワッシャを外さないでください。



■A部詳細図

※アルミPGタイプの場合にワッシャを外すと、ハンドル固定ネジを締め込みすぎた場合に、本体にひずみが発生する恐れがあります。

※断熱フラッシュタイプの場合にワッシャが外されていないと、本体と把手にすき間が発生します。



※戸先錠ケースを先に取付けてください。

①室外側把手の取付け柱が戸先錠ケースの穴(A)に挿入され、ジョイント部がラッチングスライダーの穴(B)に挿入されるように切欠きに差込みます。

②室内側把手をジョイント部がラッチングスライダーの穴(B)に挿入され、取付け柱先端のくぼみに室外側の取付け柱が入るように切欠きに差込みます。

③取付けねじ(M4×35頭部色付き)で固定します。

※必ず室内側からねじ止めしてください。外側から外されるおそれがあります。

※ねじを強く締め過ぎると縦框が変形し、縦框と縦框カバーとの間にすき間ができるおそれがあります。

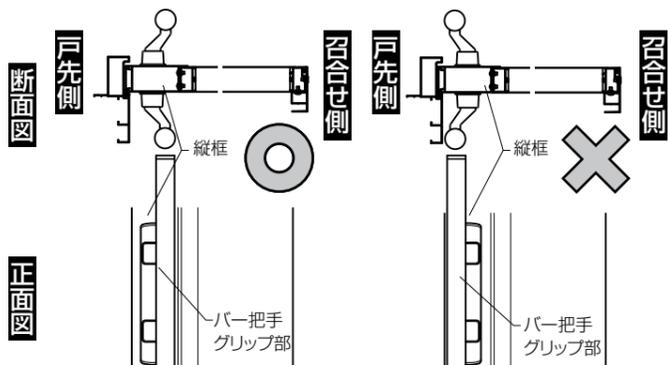
※把手を解除操作したまま取付けると、ジョイント部がラッチングスライダーの穴(B)に入らずラッチ解除操作ができなくなります。

※戸先錠ケースの取付封印シールは戸先錠、把手を取付け後におはがしください。

■把手の取付け方向

●把手は必ずグリップ部が召合せ側にくるように取付けてください。

※逆に取付けるとラッチ解除操作ができなくなったり、部品が破損するおそれがあります。



▲注意

●把手は正しく取付けてください。取付ける方向を間違えると手を挟むおそれがあります。

■操作方法

●可動把手の操作はグリップ部を本体の開ける方向に平行に動かすとラッチが解除します。

